



ナツボラ 2022

(夏のボランティア体験キャンペーン)

活動実績報告書



2022年11月

社会福祉法人高知県社会福祉協議会
高知県ボランティア・NPOセンター

ナツボラ2022の活動実績

今年で9年目を迎えた、夏休み期間中のボランティア体験キャンペーン「ナツボラ」。
2022年度も7月20日（水）～8月31日（水）の期間に実施されました。

1. のべ990人のボランティアが活動に参加しました。
中学生が4%、高校生が89%、大学・専門学校生が6%でした。
ボランティアの実数は834人でした。（前年：のべ877人、実数795人）
2. アンケート回答者の100%がボランティアに参加して良かったと回答しました。（回答数：753人）
今後もボランティアに参加したいと回答した人は99.5%でした。
また、41%が初めてのボランティア体験でした。
3. 62の団体・施設が70件のボランティア受入れ先となりました。
子ども26、高齢者16、地域交流12、その他5、障害者5、イベント4、環境2
4. 98%の団体・施設がボランティア受入れは、活動に役立ったと回答しました。
また、96%の団体・施設が今後もボランティアを受け入れたいと回答しています。
5. ナツボラガイドを、23,000冊印刷し、約900か所に配布しました。
ボランティアのアンケートによると、ナツボラのことを学校で知ったという回答が最も多くを占めました。ナツボラガイドは毎年、高知県内の高校や大学、専門学校で配布していただいています。

【予告】 ナツボラは2023年も開催します！

2023年春に開催をご案内する予定です。

ぜひ2023年もナツボラ受入登録をお願いします。

「ナツボラ」日にち別ボランティア活動人数

受入日	中学生	高校生	大学生	専門生	一般	受入日	中学生	高校生	大学生	専門生	一般
7月20日	0	11	0	0	0	8月12日	0	21	1	0	0
7月21日	0	3	0	0	0	8月13日	3	8	0	0	0
7月22日	0	3	0	0	0	8月14日	0	5	0	0	0
7月23日	0	7	0	0	0	8月15日	1	16	0	0	0
7月24日	0	6	0	0	1	8月16日	9	65	0	0	1
7月25日	3	8	0	0	0	8月17日	1	31	0	1	2
7月26日	0	14	0	0	1	8月18日	0	73	1	8	0
7月27日	0	17	0	0	5	8月19日	2	35	0	1	0
7月28日	0	13	0	0	0	8月20日	0	14	0	0	1
7月29日	0	16	0	0	0	8月21日	0	5	0	0	0
7月30日	0	7	0	0	0	8月22日	0	7	3	0	1
7月31日	0	0	0	1	0	8月23日	1	28	4	0	0
8月1日	0	13	0	0	0	8月24日	0	69	1	0	0
8月2日	0	28	0	0	0	8月25日	0	15	0	0	0
8月3日	5	65	0	1	0	8月26日	0	17	5	0	0
8月4日	2	26	0	3	0	8月27日	1	5	3	0	0
8月5日	1	22	0	0	1	8月28日	0	23	0	0	0
8月6日	1	10	0	0	0	8月29日	0	11	0	0	0
8月7日	1	22	0	0	0	8月30日	0	8	1	0	0
8月8日	0	26	1	2	1	8月31日	0	2	0	0	0
8月9日	0	29	3	3	0	期間外	1	20	3	0	0
8月10日	3	46	4	2	0	合計	35	882	33	26	14
8月11日	0	12	3	4	0						

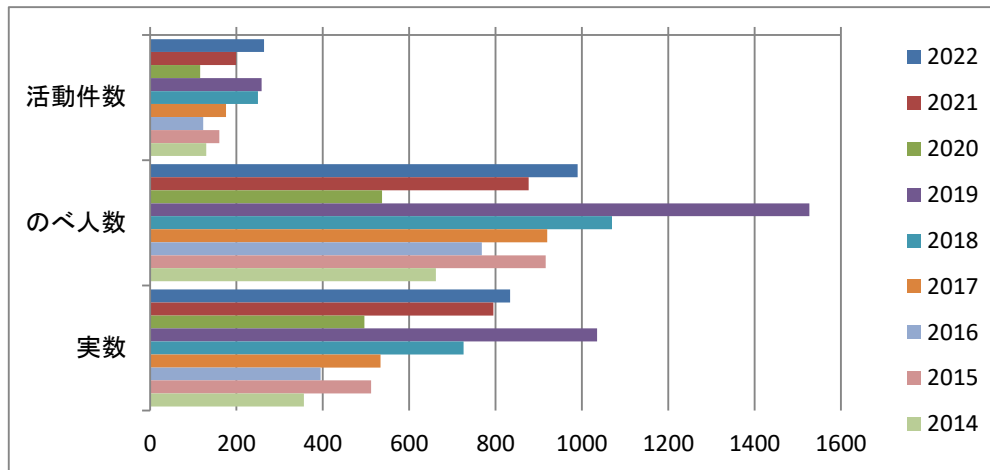
ボランティア活動件数	264 件	ボランティア活動のべ人数	のべ 990 人
ボランティア活動実人数	834 人 (内訳：中学生 33 人、高校生 750 人、大学生 19 人、専門学校生 22 人、一般 10 人)		

「ナツボラ」活動人数(件数)9年間経緯

1. ボランティア活動人数(件数)

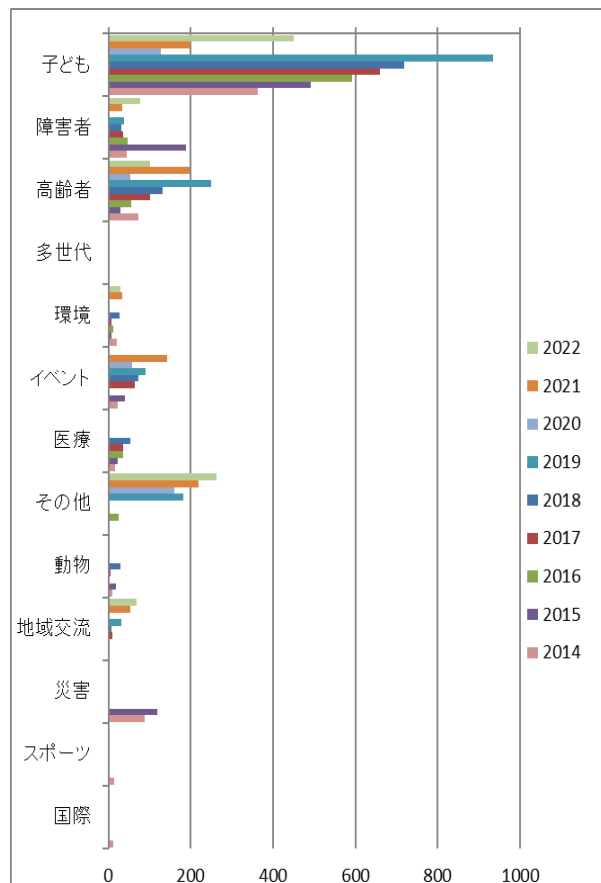
	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
活動件数	130	160	123	176	250	258	116	199	264
のべ人数	662	916	768	920	1070	1527	537	877	990
実人数	356	512	395	534	726	1035	496	795	834

※活動件数～1日を1件として数えたボランティア活動のべ件数。



2. ボランティア活動人数: 分野別

活動分野	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
子ども	364	492	593	660	718	935	128	199	450
障害者	44	189	46	36	31	38	14	33	76
高齢者	72	28	56	102	132	249	53	197	100
多世代	--	--	1	--	--	--	--	--	--
環境	20	7	12	8	26	0	106	33	29
イベント	23	40	0	63	73	91	57	142	3
医療	17	23	35	35	52	--	--	--	--
その他	0	0	25	--	--	182	159	220	263
動物	9	18	--	6	30	--	--	--	--
地域交流	--	--	--	10	8	32	20	53	69
災害	89	119	--	--	--	--	--	--	--
スポーツ	13	--	--	--	--	--	--	--	--
国際	11	--	--	--	--	--	--	--	--
合計	662	916	768	920	1070	1527	537	877	990



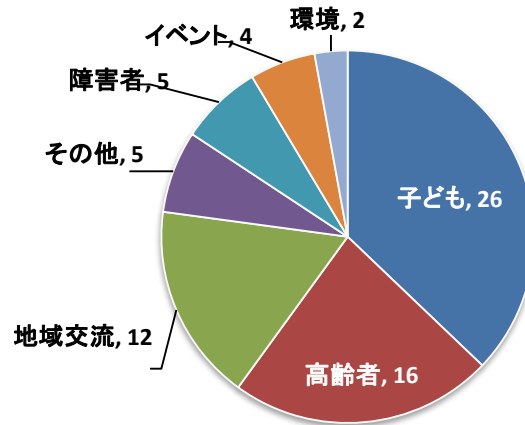
「ナツボラ」ボランティア受入登録と活動の状況

1. ボランティア受入登録件数: 分野別

※()内は、新型コロナウイルス感染症の影響により受入中止

子ども	26(4)
高齢者	16(3)
地域交流	12(5)
その他	5
障害者	5
イベント	4(1)
環境	2(1)
合計	70(14)

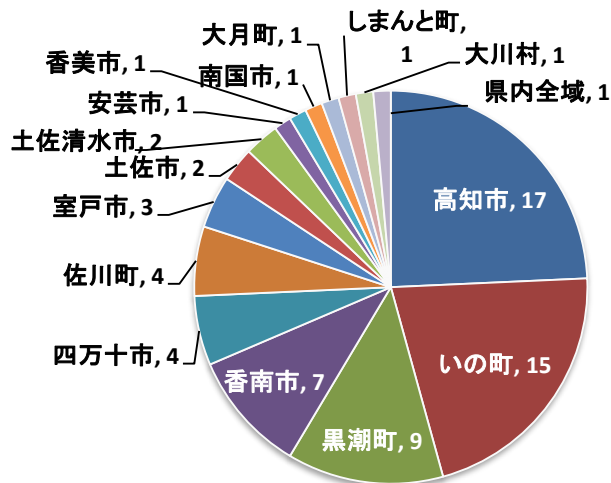
【62団体・70件】



2. ボランティア受入登録件数: 市町村別

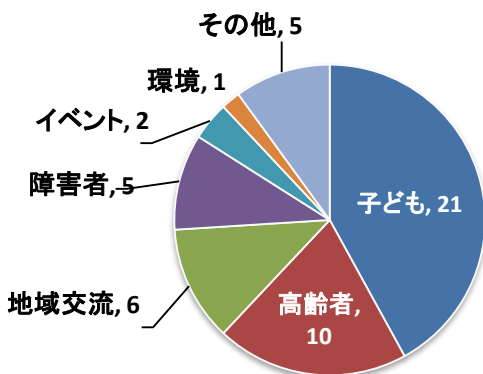
※()内は、新型コロナウイルス感染症の影響により受入中止

高知市	17(1)
いの町	15(3)
黒潮町	9(4)
香南市	7
四万十市	4
佐川町	4(2)
室戸市	3(3)
土佐市	2
土佐清水市	2
安芸市	1
香美市	1
南国市	1(1)
大月町	1
しまんと町	1
大川村	1
県内全域	1
合計	70(14)

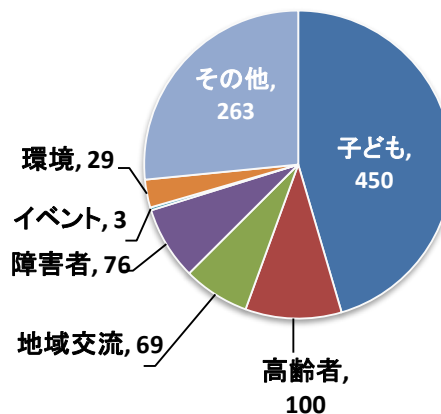


3. ボランティア活動件数: 分野別

※「受入登録件数」のうち、ボランティアの実績があった



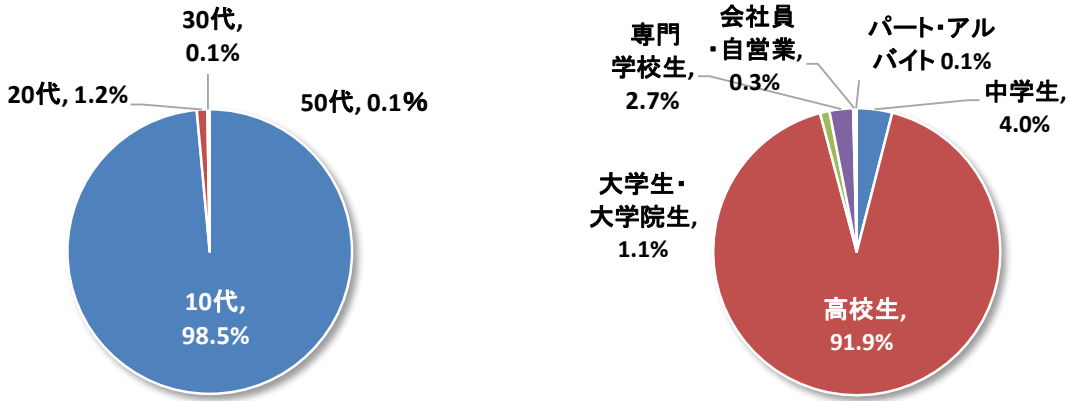
4. ボランティア活動人数: 分野別



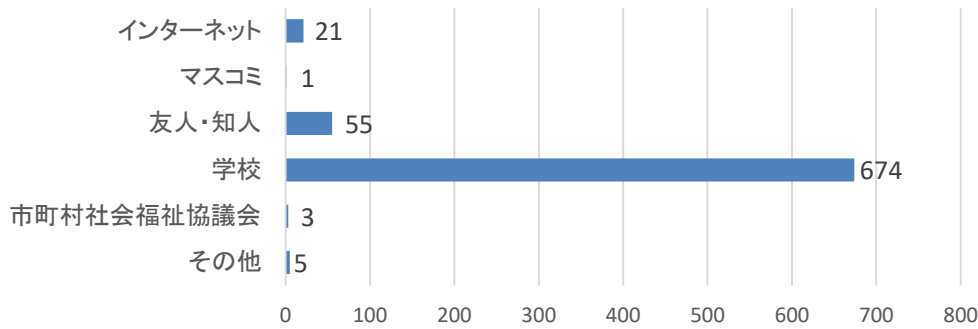
ボランティア対象アンケート結果(回答数=753)

※受入団体にご協力いただき、ボランティアへのアンケートを実施しました。

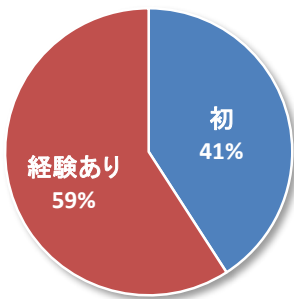
1. ボランティアの年代と内訳



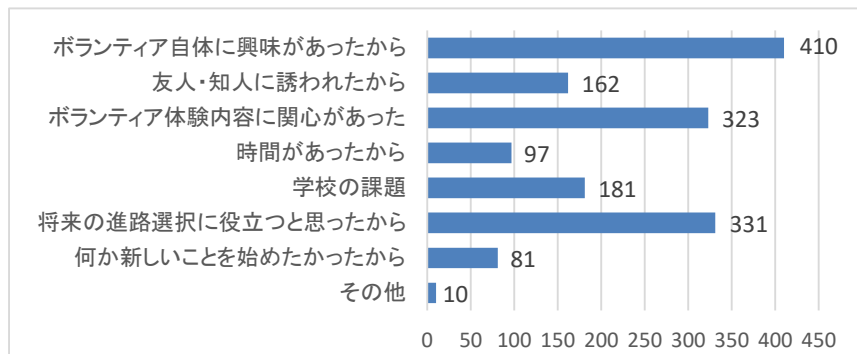
2. ナツボラを知ったきっかけ(複数回答)



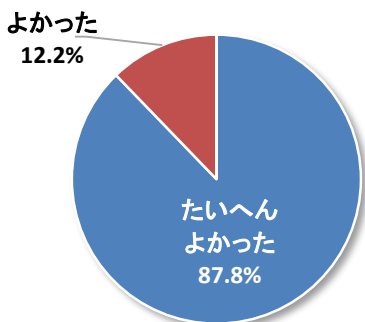
3. ボランティア活動の経験の有無



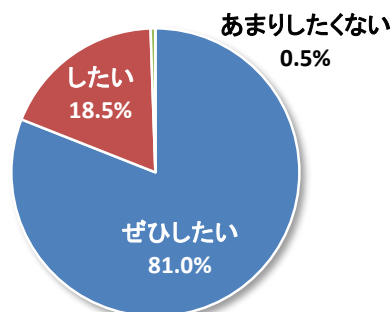
4. ナツボラに参加したきっかけ(複数回答)



5. ナツボラの感想



6. 今後のボランティア参加意向



ボランティア対象アンケート結果 [詳細版] (回答数=753)



1. ご自身について教えてください。

① 10代(742人,98.5%) 20代(9人,1.2%) 30代(1人,0.1%) 40代(0人,0.0%)
50代(1人,0.1%) 60代(0人,0%) 70代以上(0人,0.0%)

② 中学生(30人,4.0%) 高校生(692人,91.9%) 短大生・大学生・大学院生(8人,1.1%)
専門・各種学校生(20人,2.7%) 会社員・自営業(2人,0.3%) パート・アルバイト(1人,0.1%)
無職(0人,0%) その他(0人,0.0%)

【その他内訳】

2. ナツボラをどこで知りましたか？ (複数回答)

学校(674人,88.8%) インターネット(21人,2.8%) マスコミ(1人,0.1%)
友人・知人(55人,7.3%) 市町村社会福祉協議会(3人,0.4%) その他(6人,0.7%)

【その他内訳】 家族、親

3. ボランティア活動の経験はありましたか？

ナツボラが初めてだった(307人,41%) ボランティアの経験があった(444人,59%)

4. ナツボラに参加したきっかけを教えてください。(複数回答)

ボランティア自体に興味があったから(410人,26%) 友人・知人に誘われたから(162人,10%)
学校の課題(181人,11%) ボランティア体験内容に関心があったから(323人,20%)
時間があったから(97人,6%) 将来の進路選択に役立つと思ったから(331人,21%)
何か新しいことを始めたかったから(81人,5%) その他(10人,1%)

【その他内訳】・経験として高校生の時にボランティアをすることが今後役に立つと考えたから
・去年も来させていただいて楽しかったから 等

5. ナツボラの感想を教えてください。

たいへんよかった(661人,87.8%) よかった(92人,12.2%)
あまりよくなかった(0人,0.0%) よくなかった(0人,0%)

6. またボランティア活動をしたいですか？

ぜひしたい(605人,81.0%) したい(138人,18.5%)
あまりしたくない(4人,0.5%) もうしたくない(0人,0%)

7. 「ナツボラ」について、ご意見・ご感想をご記入ください。

【主な意見】

- ☆ 普段できない貴重な経験ができた。
- ☆ 将来の進路選択に役立った。
- ☆ ボランティアの楽しさを知れた。

【抜粋：分野別】

◎イベント

- ・子ども達といっぱい触れ合うことができ、とても楽しかった。いろんな作品を見ることができて良かった。
- ・いろんな人が作った作品を見ることができ、少し人見知りを克服することができた。
- ・すごく楽しくてやってよかったと感じた。

◎環境

- ・高知県での知らなかった問題や課題に向き合い、過疎化や荒廃農地について知ることができた。素晴らしい事業活動だと思った。
- ・畑を始めから耕すことは初めてで、本当に体を使う大変な仕事だと分かった。だんだんと皆で頑張った成果が見えてくるのが嬉しくて、とても達成感があった。
- ・地域の課題を肌で感じる事が大切だと思う。
- ・もっと学生がたくさん参加して中山間地域を支えるべきだと感じた。
- ・普段だったらすることのない農作業をすることができて、過疎化している地域のためにこうやって考えて行動して、若い人たちに伝えている方がいるということを間近に感じる事ができて、とても良かった。

◎地域交流

- ・周りをみて行動することの大切さや対応の難しさを学ぶことができた。
- ・子ども達の活発な活動を見て私もすごく明るい気持ちになった。施設の方々も優しく引き受けてくれて、とても良い経験になった。
- ・地域の人のために働いて達成感を感じた。
- ・違った世代の方と交流できたのがとても良かった。
- ・普段は体験できないことができて、とても良い経験になった。人のために働く楽しさを学ぶことができた。

◎子ども

- ・みんなと楽しく活動することができた。小学生の「ありがとう」がとても嬉しかった。
- ・将来の夢が管理栄養士なので、実際はもっと大変だと思うけど、なりたい職業に近いことが体験でき、将来の想像がしやすくなった。また料理を作る楽しさも改めて実感した。
- ・親子の交流の場を間近で見れて良かった。
- ・いつもは関わることのない赤ちゃんやお母さんと関わって、お母さんの大変さや子育ての楽しさを知ることができた。お母さんたちは子育てを支援する場所を必要としていることも分かった。
- ・実際に中学生と接してみて、初対面なのにも関わらず気軽に質問してくれる子がいたり、話しかけても反応がない子であったりと指導の難しさを学べる貴重な体験ができた。
- ・将来子ども達と接する機会もあると思うので、接し方が勉強になったということは、とても活用できることだと思う。先生方の仕事も間近で見れて良かった。子ども達を第一に考えるという姿勢を持つことができた。
- ・今回初めてボランティアに自主的に参加したことで、清掃活動など学校主体の活動とはまた違う責任感を持つことができた。たくさんの経験もでき有意義な時間を過ごすことができた。

◎高齢者

- ・3年間同じ活動を続けてきて、毎年活動するたびに楽しいと思えたし、自分と歳がはなれた人ともお話をできて、いい経験になったと思うことができた。
- ・高齢者の方もスタッフの方も大変優しく心温まるボランティアだった。みなさんの優しい笑顔できっと辛いことやリハビリを乗り越えることができているのだろうなと実感した。
- ・人と触れ合うのが楽しくなるような体験だった。これからの進路につなげていきたい。
- ・高齢者支援のリアルな部分のひとつを間近で見る事ができた。
- ・実際にいろんな人々と関わったり、働いている方のお話を聞くことで、将来のことをイメージしやすくなったのにに加え、お話をしたり関わることで喜んでくださる方がいてとても楽しかった。

◎障害者

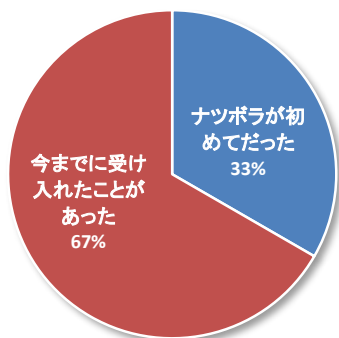
- ・今まで全然知らなかった障害者の方の労働について初めて関わって、様々な障害の種類がある方が自分ができることを役割分担しながら働いているということを知れた。そして皆さんの笑顔や頑張っている姿を見てパワーをもらった。
- ・障害児について実践的な学びができた。また短い時間ではあったが、たくさんの様々な障害児と関わり、人それぞれに合った関わり方を学ぶ必要があると感じた。
- ・最初はみんなと仲良くなれるのか、受け入れてくれるのか不安だったけど、みんな優しくておもしろい子たちで、ボランティアに来て良かったと心から思った。また地元でボランティアできたことが嬉しかった。
- ・今まで講義などで発達障害についての勉強はしていたが、実際に関わる機会はなかなか無かったので、今回のボランティアを通して、子どもの特性を理解しながらもその子に合った関わりをする事がとても難しいと感じた。自分なりにどういった関わりをすれば良かったのかを改めて振り返りながら、将来養護教諭として働く上での手立てにしていきたい。

◎その他

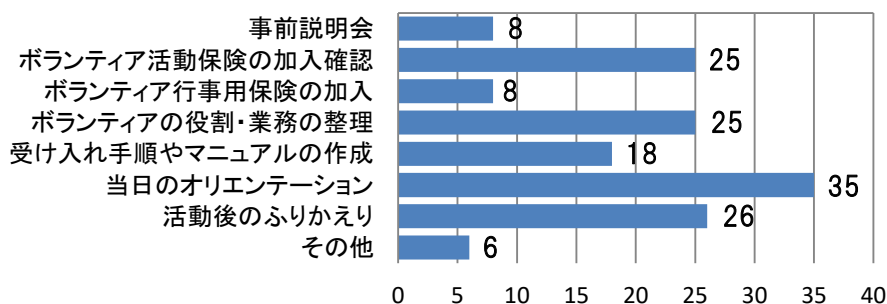
- ・今回は切手でボランティアに参加したが、切手のデザインがたくさんあって面白く感じた。身近なことで、社会貢献できたと思うとうれしく感じた。
- ・単純な作業だったけど、人の役に立てたということが嬉しかったし、また続けていきたいと思った。ボランティア活動にも興味がわいた。
- ・小さな切手でもお金にかわると知って、身近な物でも大切に使い方を考えていこうと思えた。
- ・パープルリボンを作るだけでなく、社会問題も知れて、よりこれから解決へと貢献していこうと思えた。
- ・DVについて学ぶことができ、自分や周りも経験するかもしれないという、他人事に考えない意識を持つことができた。
- ・初対面の人と共に活動することにより、コミュニケーション能力を育むことができた。
- ・学校で探究活動があるので様々な支援活動があることは存じていましたが、実際に活動されている方々の姿をみて参加して良かったなと感じた。まだまだ知識が浅いですが、私もいつか主体的に活動する側にまわれるようになりたい。
- ・人と協力して何かを行うことの大切さを改めて理解できた。

受入団体対象アンケート結果(件数=70[内受入中止14]回答数=51、回収率=91%)

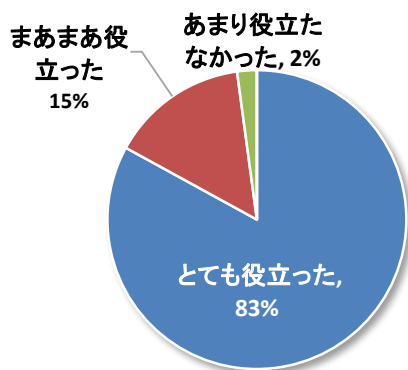
1. ボランティア受入経験の有無



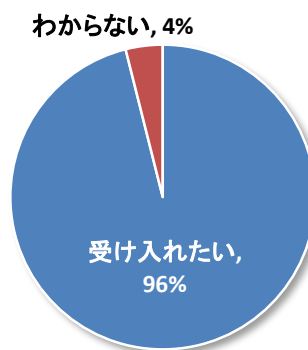
2. ボランティア受入にあたり実施したこと(複数回答)



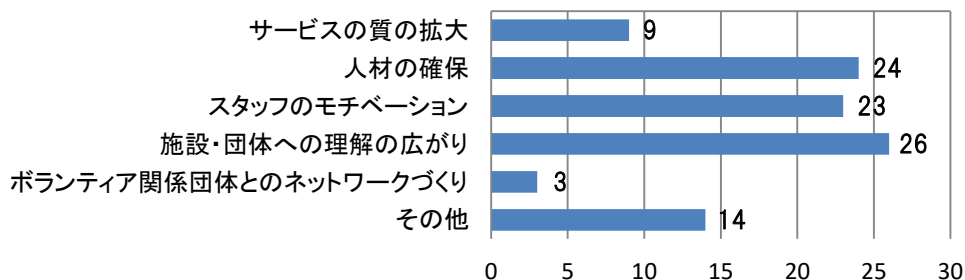
3. ボランティア受入が施設・団体の活動に役立ったか？



4. 今後のボランティア受入意向



◆ 役立った団体・施設が選んだ良かったこと(複数回答)



受入団体対象アンケート結果【詳細版】（回答数=51）

1. 今までにボランティアを受け入れたことがありましたか？

ナツボラが初めてだった(17件,33%) 今までに受け入れたことがあった(34件,67%)

2. ボランティアを受け入れる際に実施したことは何ですか？（複数回答）

事前説明会(8件,5%) ボランティア活動保険の加入確認(25件,17%)
ボランティア行事用保険の加入(8件,5%) ボランティアの役割・業務の整理(25件,17%)
受入手順やマニュアルの作成(18件,12%) 当日のオリエンテーション(35件,23%)
活動後のふりかえり(26件,17%) その他（6件,4%）

【その他内訳】

- ・ボランティア保険ではなく、国内旅行保険に加入
- ・受付時の電話説明、メールでの内容連絡、受入れ前の ZOOM 打ち合わせ
- ・交通手段の確認 ・抗原検査実施～陰性証明

3. ボランティアを受け入れることが貴施設・団体の活動に役立ちましたか？

とても役立った(39件,83%) まあまあ役立った(7件,15%)
あまり役立たなかった(1件,2%) まったく役立たなかった(0件,0%)
どちらともいえない(0件,0%)

- ・とても役立った、まあまあ役立ったを選んだ方にお聞きします。

どのような点が良かったですか？（複数回答）

サービスの質の拡大(9件,9%) 人材の確保(24件,24%)
スタッフのモチベーションアップ(23件,23%)
施設・団体への理解の広がり(26件,27%)
ボランティア関係団体とのネットワークづくり(3件,3%) その他（14件,14%）

【その他内訳】

- ・利用者さんの活性化、通常時ではあまり経験できない若い世代との関わり
- ・地域との交流、発達支援についての理解の広がり
- ・ボランティアに関心を持ってもらったこと、将来を決める一助となれた 等

4. 貴施設・団体では今後もボランティアを受け入れたいと考えますか？

受け入れたい(49件,96%) わからない(2件,4%) 受け入れたくない(0件,0%)

5. 「ナツボラ」についてご意見・ご感想をご記入ください。

【主な意見】

- ☆施設・団体への理解につながった。
- ☆スタッフにとってもよい経験になった。
- ☆施設の利用者の方が喜んでくれた。

【抜粋：分野別】

◎イベント

- ・コロナ禍でお互い配慮が必要ですが、感染予防を徹底して出来た事は、お互い良い経験が出来たと思います。

◎環境

- ・殆どの参加者がこちらが提起する過疎、人口減少、消滅可能性耕作放棄地の問題などについて、向き合おうとする姿勢が見受けられ好感を持ってました。

◎地域交流

- ・今回は不特定多数の接触を避けて、子どもたちのみの相手をしてもらったのですが、年齢の近いお兄さんお姉さんとすぐに打ち解けて可愛がってもらい喜んでいました。職員もフレッシュな高校生の皆さんから元気と刺激をもらい好評でした。またボランティアさんとの接し方や利用者さんとの関わってもらい方を教えることなども私たちスタッフも勉強になりました。若い人たちがボランティアを経験することで排除を生まない社会づくりに一歩進める気がします。

◎子ども

- ・自らの意志で来ているのか、課題だから来ているのかにより、学生さんのモチベーションにバラつきを感じましたが、子どもたちは遊んでもらうことをとても喜んでいました。ボランティアさんの感想にも日頃子どもと触れ合う経験がないので楽しかったという声が多数あり、双方にとって良い経験だったと思います。
- ・今回初めてナツボラで、中学生、高校生に来てもらい、保育園がどのような所か知っていただけたり、保育の仕事に興味を持っていただけたりと、現場の私たちも色々刺激を受けました。
- ・高校生はとても素直で、子どもたちと楽しく過ごしてくれました。とても人気があり、子ども達もスタッフもいい思い出が出来ました。「子どもの教育」に興味がわいてきたと言ってもらえたので良かったです。コロナ禍で制限がかかり、子ども達はストレスを抱えているようにみえた夏休みでした。そんな中、たくさんボランティアの中高生が来て下さり、子ども達は大喜びでした。体を使った遊びをしてくれたり、勉強を教えてくれたり、時には揉め事を解決したりと、大活躍してくれました。ボランティア参加者が将来、学校の先生や保育士を目指していると聞かせてもらいました。「学童ってこんなに大変だったんですね」と言って帰る人もいて、学童の現場を肌で感じてもらう良いきっかけになったと思います。なかなか気が利くような事をボランティアの方達に言えませんでした。子ども達の今の現状を見て頂くことができて良かったです。

◎高齢者

- ・コロナ感染者増のため、通常であれば5時間のスケジュールが2時間に短縮され、慌ただしさの中で体験となったと思います。その中でも感染予防をしながらレクリエーションや買い物介助、体操に脳トレ等、高齢者の方々と関わる事が出来たようです。利用者さんも「若い子が来てくれたら私らも気持ちウキウキになる」と喜んでいました。

◎その他

- ・学生の皆さんは本年もとても熱心に取り組んでいました。特に今回は自分たちで話し合ったりと、スムーズにできました。私共は日程がギリギリ間に合う頃で心配していますが、いつも多くの参加者が集まり、この冊子の効力に感心しています。